

第81期 報告書

2012年4月1日▶2013年3月31日





東急不動産

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

代表取締役社長　金指　潔

Q 当期における事業環境は、どのようなものでしたか？

A 分譲住宅市場を中心に堅調に推移し、オフィスビル市場も底打ち感が見えてきました。

当期における我が国経済は、欧州債務危機に伴う海外経済減速の影響が続いていましたが、震災復興需要に加え、年末以降の円高是正や政府の経済、金融政策の効果により緩やかに持ち直しの動きが見られました。

不動産業界におきましては、分譲住宅市場では、政策支援等の継続を背景に契約率が引き続き順調に推移し、マンション販売を中心に堅調に推移しました。オフィスビル市場では、新規ビルの大量供給に伴う影響が一段落し、空室率に改善傾向が見られ、賃料下落率も縮小するなど、底打ち感が見えてきました。

Q 当期における業績について教えてください。

A 当社グループは財務及びグループ経営基盤の強化に取り組んだ結果、経常利益ベースで増益となり、有利子負債も大幅に改善しました。

このような事業環境のもと、当社グループでは、当期を2年目とする3ヵ年の中期経営計画『Value Innovation 2013』に基づき、グループ連携によるバリューチェーンの強化やREIT事業の活用を図り、分譲業・賃貸業・運営業をはじめとした各事業を推進するとともに、財務基盤及びグループ経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの業績は分譲業の売上の増加や売買仲介の好調などにより増収増益と

当期の業績（連結）

売上高	5,959億円 前期比7.0%増 ↑	営業利益	520億円 前期比3.8%増 ↑
経常利益	399億円 前期比14.5%増 ↑	当期純利益	221億円 前期比35.2%減 ↓

なりました。一方、特別損益の減少及び税金費用の増加などにより、当期純利益は減益となりましたが、REITへの物件売却等により固定資産が減少し、有利子負債は大幅に改善しました。

Q 今回の持株会社への移行を含む今後の成長への取り組みについて教えてください。

A グループ総合力の最大化に向けたグループ一体化による取り組みの実施により基盤整備フェーズから、成長フェーズへ。

このような事業環境のもと、当社グループでは、今後各社の成長をさらに加速するため、グループの幅広い事業領域・リソースを最大限活用した事業展開の実現が必要であり、さらなるグループ一体化による取り組みが不可欠との共通認識から、持株会社体制への移行が最適であると判断いたしました。

分譲業では、来年度より消費税率アップが予定されているものの、底堅い販売状況が続くことが予想されるほか、商品開発力、販売力、管理・運営力の連携をさらに強化し、より豊かな暮らしに向けた住環境の提供に努めるほか、賃貸業では、開発力やアセットマネジメント力のレベルアップを図るとともに、REIT事業との連携を強化し、関与資産から得られる収益の最大化を目指してまいります。また、今後の成長が期待される管理業、仲介業をコア事業として位置づけ、経営統合による経営資源の適正配分とグループ連携強化によるシナジー拡大を通じ、総合不動産業グループとして成長を加速してまいります。

Q CSRの取り組みについてお聞かせください。

A 事業を通じて取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

当社グループは、CSRとは事業活動を通じて社会的課題を解決していくことにより、お客様やステークホルダーの皆様の満足度を高めることであると考えます。東急グループの一員として、「東急グループ理念」を共有するとともに、CSR活動を重要な経営課題と位置づけ、「環境ビジョン」や「社会貢献方針」を制定しています。

都市部のオフィスや商業事業、住宅事業、リゾート事業など幅広い事業領域の中で社会貢献や環境保全に取り組むとともに、お客様にとっての新しい価値を創出し、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真について

新目黒東急ビル



4、6、8の各階に屋上庭園を設けたオフィスビルです。



クロスエアタワー



官民一体の大規模再開発ならではの特徴として、建物内に公益施設を開設。首都高「大橋ジャンクション」上部の空中庭園とも直結のタワーマンションです。

グランクレール青葉台二丁目



2013年9月開業予定のシニアレジデンス。同一敷地内にケアレジデンスの増設を予定しております。

ビジネスエアポート青山



2013年3月15日にオープンした会員制サテライトオフィスのシェアワークスペースです。1回からご利用が可能です。

ブランズ四番町



東京都千代田区に建設中の「ブランズ四番町」は、「BRANZ(ブランズ)」の新コンセプト「人生を極める住まい。」を具現化した第1号物件です。

純粋持株会社「東急不動産ホールディングス株式会社」への移行について

新生・東急不動産グループの発足

実施の背景・目的

● 実施の背景

当社グループを取り巻く事業環境は、今後大きく変化することが想定されます。

経済の成熟化、少子高齢化の進行等による価値観やライフスタイルの多様化に加え、グローバル化による新興国をはじめとする新市場が出現してきております。

このような環境下、各社の成長をさらに加速させるためには、グループの幅広い事業領域・リソースを最大限活用した事業展開の実現が不可欠となります。

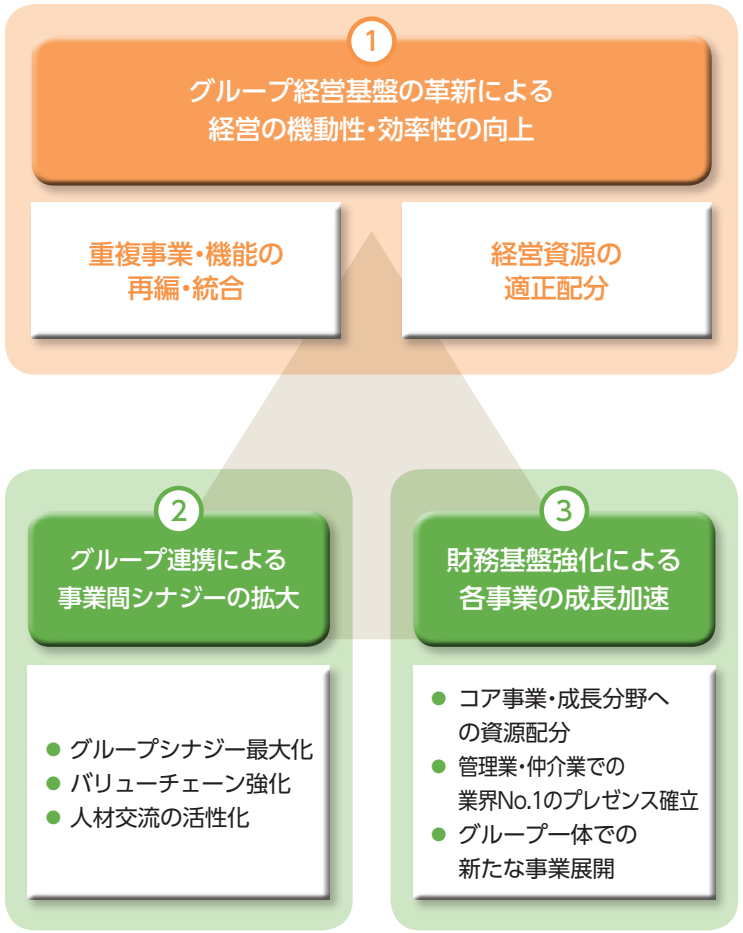
● 目的

今後の事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応でき、各社の自主性に加えて「グループ総合力」を最大限発揮できる経営体制を構築することを目的とし、純粋持株会社を設立いたします。

■ 新設する純粋持株会社の概要

商　　号	**東急不動産ホールディングス株式会社** (英文社名　Tokyu Fudosan Holdings Corporation)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂一丁目21番2号
代表者の就任予定	**設立時取締役**(13名) (代表者) 植木　正威　　(代表者) 金指　潔 **設立時監査役**(4名)
資 本 金	600億円

グループ総合力の最大化に向けたアプローチ



① グループ経営基盤の革新による経営の機動性・効率性の向上

持株会社が経営資源の適正配分を行い、グループ経営戦略機能を担うことでグループ経営力を強化。

② グループ連携による事業間シナジーの拡大

幅広いグループソースのさらなる活用、一層の連携促進の機能を担い、新たな付加価値を創出し、お客様に価値あるサービスを提供。

③ 財務基盤強化による各事業の成長加速

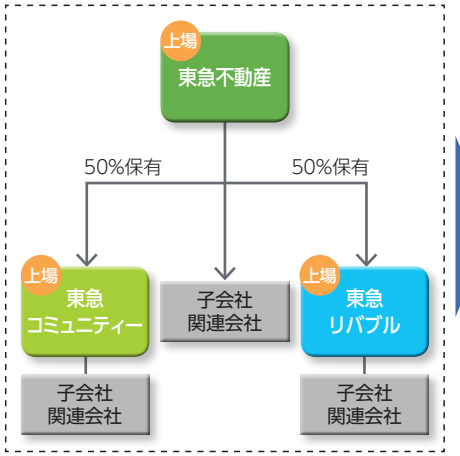
渋谷など大規模再開発へ積極的に経営資源を配分し、各事業の成長を加速。グループ一体での新たな事業展開として海外事業や新規事業への積極的な取り組み。

東急不動産ホールディングスの設立

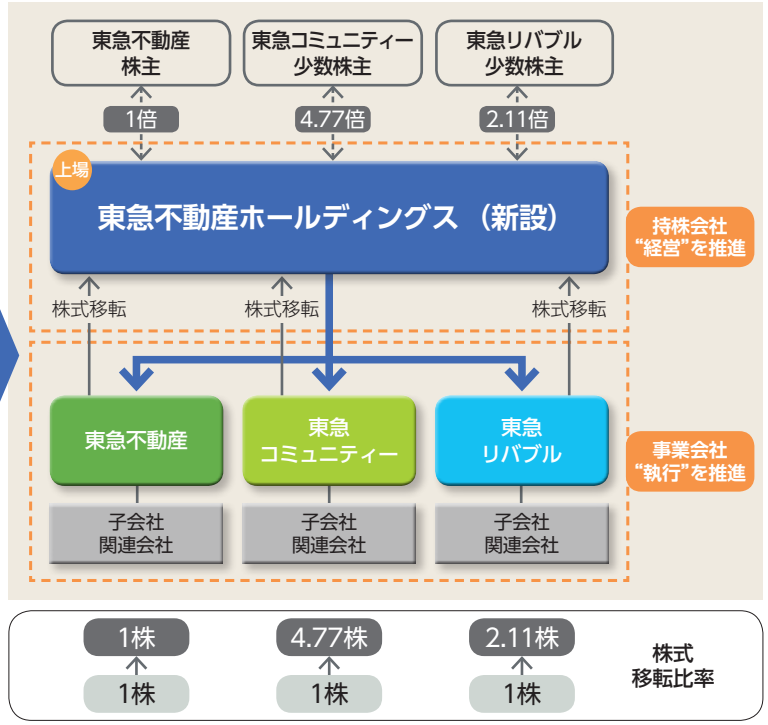
グループ総合力を最大化していくために、「経営」と「執行」の役割分担を明確にした純粋持株会社体制へと移行します。そのために、東急不動産、東急コミュニティー、東急リバブルの上場廃止を行うとともに、共同株式移転方式により純粋持株会社「東急不動産ホールディングス株式会社」を設立・上場します。新会社は、3社の経営陣を中心とする体制で経営していきます。

東急不動産、東急コミュニティー、東急リバブルの株主は、10月1日（予定）、設立される東急不動産ホールディングスの株主となります。

現行のグループ経営体制

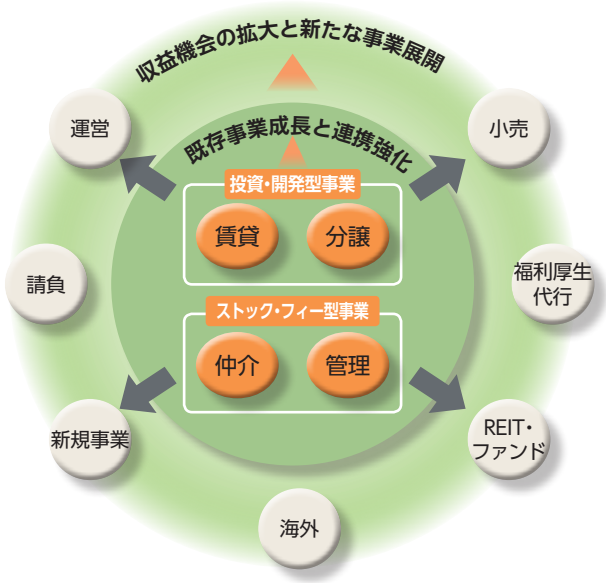


2013年10月以降のグループ経営体制



グループの成長戦略 － 全体像

投資・開発型事業（分譲業・賃貸業）及び
ストック・フィー型事業（管理業・仲介業）を
グループのコア事業と位置づけ
各事業が連携を図ることで
グループ全体の成長を牽引。



商業施設事業、続々と新施設が誕生

大阪市営地下鉄・初の駅ナカ商業施設「ekimo（エキモ）天王寺」が2013年４月18日に開業いたしました。当日は多くのお客様にご来店いただき、行列のできるお店もあるなど、大変盛況な初日を迎えることができました。

「天王寺」駅を皮切りに、2013年秋の「なんば」駅、2014年春の「梅田」駅と、大阪市営地下鉄御堂筋線の３大ターミナルに、駅ナカ商業施設として求められる便利さはもちろん、各駅利用者の特性に応じたテーマを設定し、駅毎の個性に応じた「もっと」「more」＝“＋α”の花を咲かせてまいります。

また、2013年は、神戸市の「新長田」駅前に、食品スーパー「SEIYU」を核テナントとした新施設が開業いたします。

その後も森ノ宮（日生球場跡地：大阪市）や、神宮前交差点からほど近い（仮称）神宮前６丁目プロジェクト（東京都渋谷区）、さらに川崎競馬場３号スタンド跡地（川崎市）にて建設予定の商業施設のマスターリースなど、継続して新施設の開業を予定しております。



ekimo（エキモ）天王寺



（仮称）川崎富士見プロジェクト


（仮称）神宮前6丁目プロジェクト

会員制ホテル「東急ハーヴェストクラブ」25周年
～熱海・京都に新たな施設を展開～

会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」は、1988年６月に「別荘を持つ歓びとホテルで過ごす快適さ」のコンセプトのもと蓼科に誕生し、以来、箱根・旧軽井沢・有馬など有数のリゾートエリアに展開してまいりました。その間多くの皆様に育てられ2013年に開業25周年を迎えることとなりました。

新規開業も控えており、2013年８月には、熱海市伊豆山に「東急ハーヴェストクラブ熱海伊豆山&VIALA」、2014年秋には、京都市北区に「東急ハーヴェストクラブ京都鷹峯&VIALA」の開業を予定しております。

新規施設のみならず既存施設のブラッシュアップにも注力しており、2012年７月には1993年に開業した「トラスト箱根明神平」においてリニューアル工事を実施し、新たに露天風呂付の客室を設けるなど、時代の移り変わりに伴うニーズや価値観の多様化に合わせた施策を計画的に実施しております。

今後も会員のお客様に満足していただけるような施設開発・運営に注力してまいります。


東急ハーヴェストクラブ熱海伊豆山&VIALA

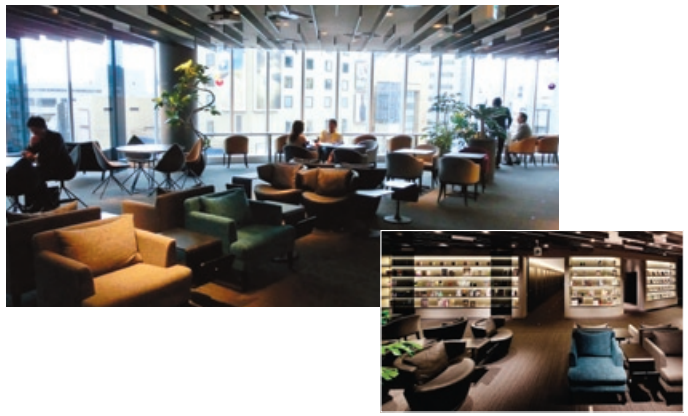

東急ハーヴェストクラブ京都鷹峯&VIALA

会員制サテライトオフィス「ビジネスエアポート青山」がオープン

東急不動産の新規事業として、会員制サテライトオフィス“Business-Airport(ビジネスエアポート)”１号店が、ビジネスとデザインが融合する青山(スプライン青山東急ビル６階)に2013年３月15日にオープンいたしました。

個人の働き方の変化や法人業のオフィス課題に対応した新しいカタチのワークスペースとして、サービスオフィスとシェアワークスペースを組み合わせた新しいオフィス形態を提供いたします。

また、単なる場所貸しに留まらず、利用者同士の“リアル”なコミュニケーションを図るための工夫として、入館者全員が利用可能なシェアワークスペースを活用し、交流イベントの開催や多様なセクターのビジネスマンが一同に会するフューチャーセッションなどの「コミュニティデザイン」の仕組みも導入するなど、新しい試みに挑戦しております。



住宅ブランド「BRANZ」のさらなる強化を目指した取り組み

分譲住宅ブランド「BRANZ（ブランズ）」の認知度の向上とブランドイメージの醸成を目的にブランドコンセプトの再構築を行い、2013年１月より新しいブランドビジュアルを据え、展開しております。新しいブランドコンセプトは、「人生を極める住まい。」。BRANZに住まうことで、お客様の日々を、人生を、より高みに誘うという意味を込めております。

現在建設中の「ブランズ四番町」（東京都千代田区）は、ブランドリニューアルを具現化した第１号物件です。「人生を極める住まい。」というコンセプトにふさわしく、東京メトロ有楽町線「市ケ谷」駅徒歩３分という立地にありながら、駅前の賑わいからは一歩外れた、閑静な番町の高台に所在し、長く愛される住まいであるために長期優良住宅の認定を受けております。また、ゲートセキュリティの設置や防災への配慮として専有部にも電力供給ができる非常用発電を設けるなど、新しい価値創造にも取り組んでおります。





10年目を迎えたシニア事業　～お客様のニーズに応える様々な取り組み～

2013年９月に開業を予定する「グランクレール青葉台二丁目」（神奈川県横浜市）は、東急田園都市線「青葉台」駅から徒歩８分、桜台公園や銀杏並木が広がる落ち着いた住環境に誕生する、総戸数80戸のシニアレジデンスです。また、今後は同一敷地内に総戸数34戸のケアレジデンスの増築を予定しております。

「グランクレールあざみ野」（神奈川県横浜市）でスタートした、当社のシニア事業は2013年で10年目を迎え、“グランクレールシリーズ”の展開だけではなく、多様化する高齢者のニーズにお応えすべく様々な取り組みを行っております。



2012年には「グランクレールセンター南」（神奈川県横浜市）において、地域の多世代交流拠点を目指した、ユニバーサルデザインインテリアとカフェの融合店舗「＆comodia（アンドコモディア）」、2013年には「グランクレールあざみ野」にて、高齢者の新しい住まい方を提案する「＆comodia ユニバーサルルーム」をオープンいたしました。

今後も、お客様よりいただいたご意見・ご要望にお応えできるような安心・安全な住まいの提供を目指してまいります。

東急不動産グループの
CSR活動

building smiles

様々な環境配慮を具現化
オフィスビルが竣工

オフィスビルの新コンセプト「building smiles」を具現化した第1号物件、「新目黒東急ビル」（東京都品川区）が2012年12月に竣工いたしました。

緑に囲まれて仕事ができる屋上庭園や、女性ワーカー向けに姿見を備えた着替えスペース、自転車通勤者のためにシャワーブースや駐輪場を備えた、多彩な働き方を提案する、新しい形のオフィスビルです。

事業を通じたCSR活動として、建物の屋上に大規模な緑化を行い、生物多様性の保全に取り組んでおります。建物周辺は、目黒川や、目黒雅叙園や国立自然教育園といった緑地など、都市部においても自然に恵まれた立地です。敷地周辺の生態系の調査を行い、チョウや鳥など生き物の生息空間を確保する緑化を実施し、地域のエコロジカル・ネットワークを形成しております。







連結財務諸表（要旨）（億円未満を四捨五入して表記しております。）

連結損益計算書（単位：億円）

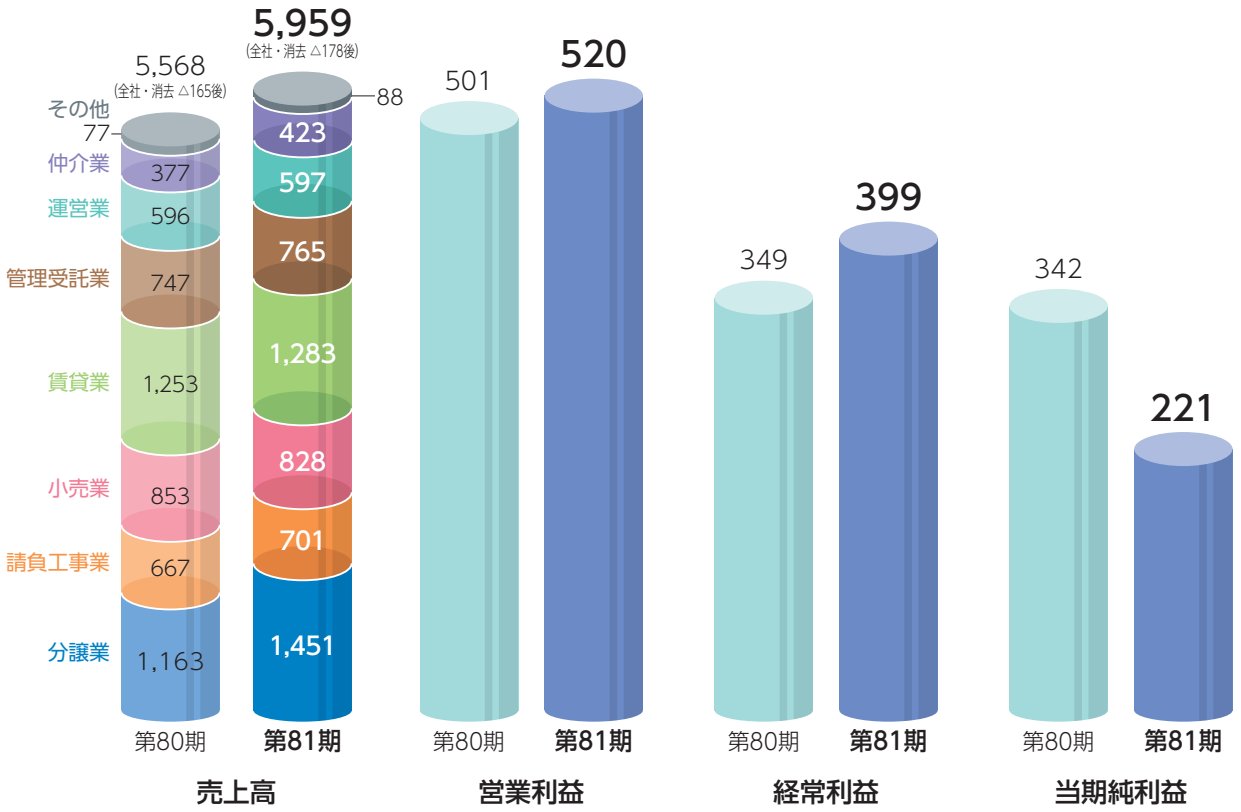
POINT

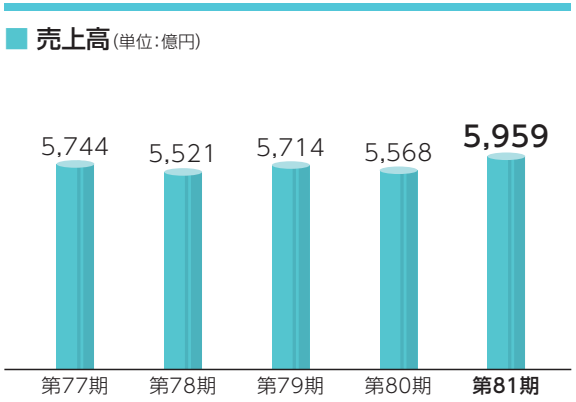
売上高・営業利益・経常利益

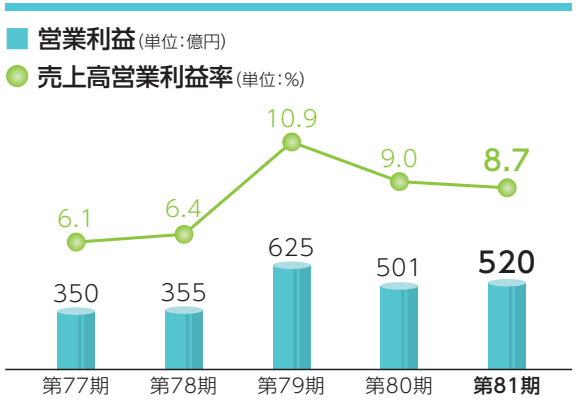
分譲業における売上増加や、仲介業における売買仲介の好調により、対前期比で売上高+7.0%、営業利益+3.8%、経常利益+14.5%と増収増益となりました。

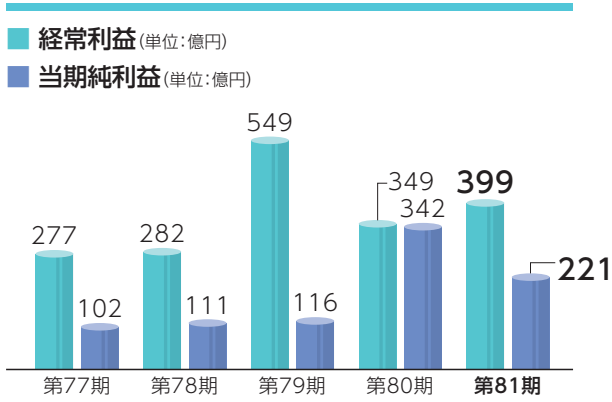
当期純利益

対前期比で△35.2%と減益になりましたが、これは、特別損益の減少及び税金費用の増加等によるものです。

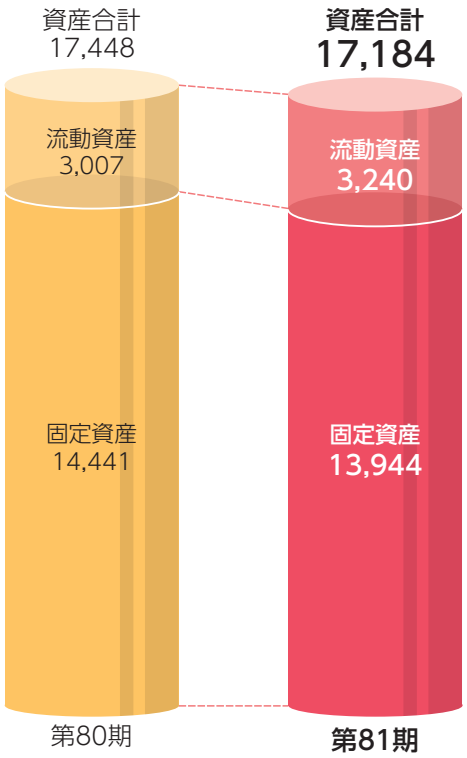


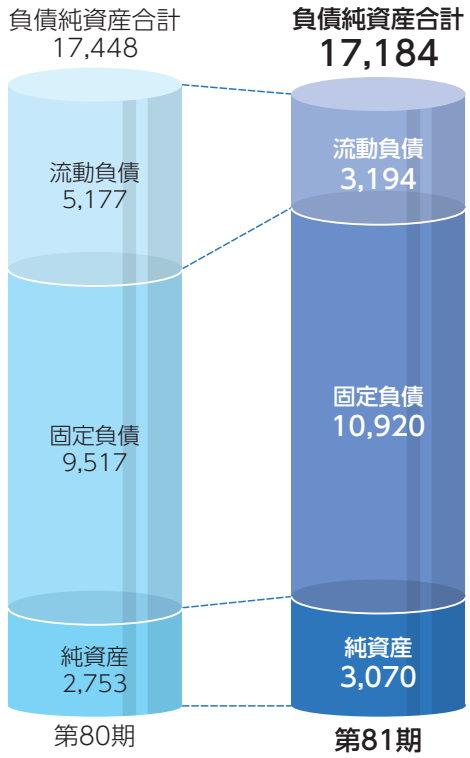


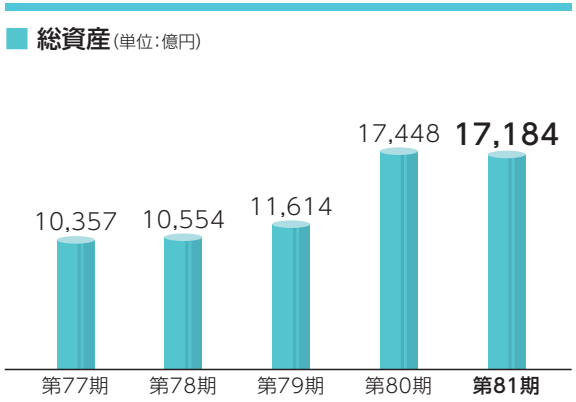


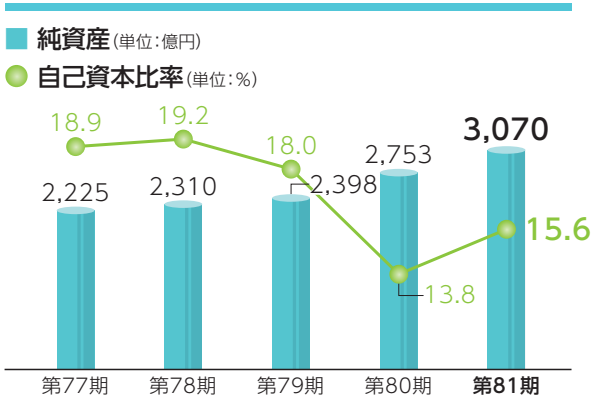


連結貸借対照表 (単位：億円)









POINT

資産

流動資産：現金及び預金240億円増加や仕掛販売用不動産188億円増加等により、前期に比べ233億円増加しました。

固定資産：(株)東急コミュニティーによるユナイテッドコミュニティーズ(株)の株式取得で、のれんが増加した一方、当社及び連結子会社が保有する一部の商業施設・オフィスビルについて、アクティビア・プロパティーズ投資法人へ譲渡したこと等から、前期に比べ497億円減少しました。

資産合計：上記により、前期に比べ264億円減少しました。

負債

流動負債：短期借入金1,958億円減少等により、前期に比べ1,983億円減少しました。

固定負債：長期借入金1,087億円増加等により、前期に比べ1,403億円増加しました。

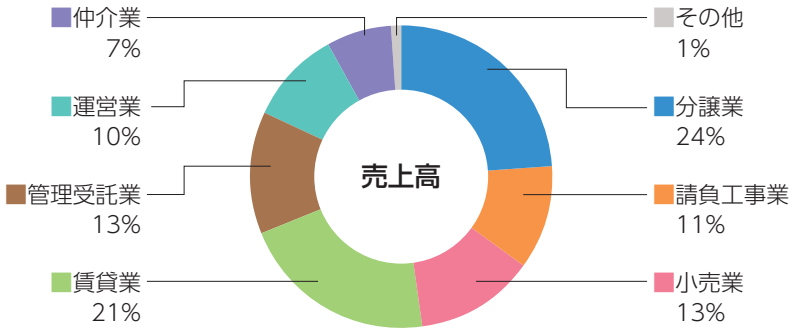
負債合計：上記により前期に比べ580億円減少しました。

純資産

利益剰余金206億円増加等により、純資産合計は前期に比べ316億円増加しました。

当期の業績について

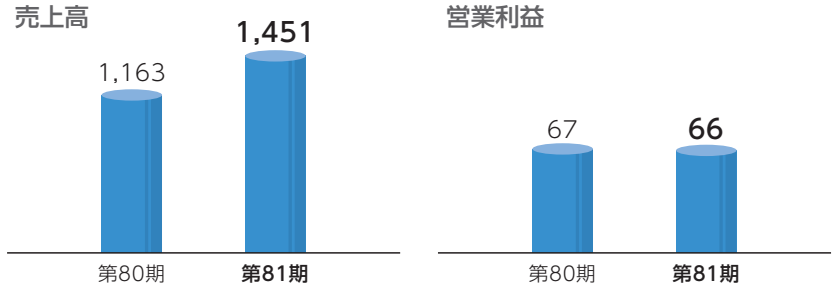
分譲における売上増加による増収、仲介業における売買仲介の好調による増益



分譲業（単位：億円）

事業別売上高 24%



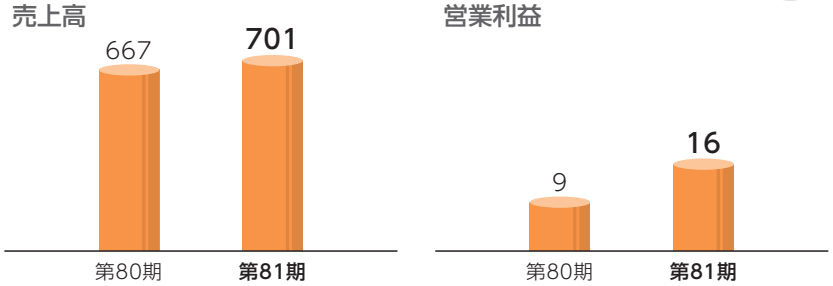


- 住宅ブランド「BRANZ」の販売が堅調に推移し、増収。
- 分譲マンションの利益率の改善があったものの、たな卸資産評価損の計上等により営業利益は微減。

請負工事業（単位：億円）

事業別売上高 11%



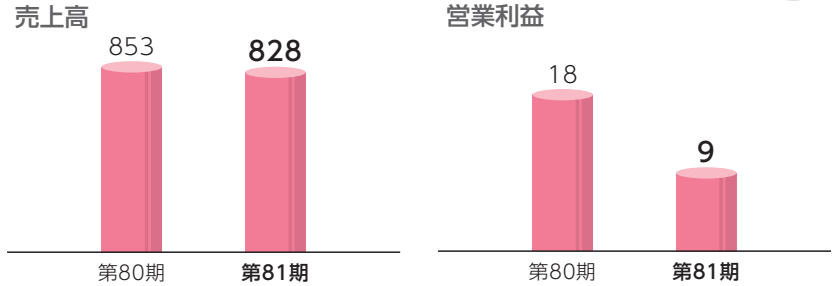


- 注文住宅事業において、「ミルクリーク」の2世帯新商品の開発やリフォームにおける建替代替商品「暮らしアップ」の完工高増加により増収増益。
- 受注実績についても、リフォームにおける建替代替商品や注文住宅を中心に順調に伸長。
- マンション共用部工事を中心に収益力向上、優れた造園技術により官公庁工事の収益増加。

小売業（単位：億円）

事業別売上高 13%





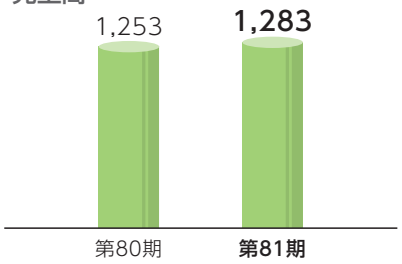
- （株）東急ハンズにおいて、既存店の減収等により減収減益。
- 海外初進出の「東急ハンズ上海店」のほか、「東急ハンズ東京店」（東京都千代田区）、「東急ハンズ熊本店」（熊本県熊本市）を開業。また、小型店「ハンズ ビー」も「ハンズ ビー東急プラザ表参道原宿店」（東京都渋谷区）含む6店開業。

賃貸業 (単位：億円)

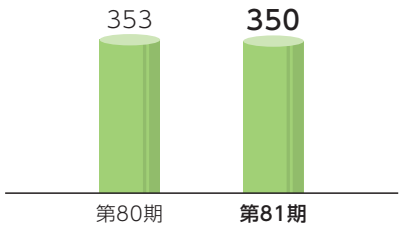
事業別売上高 21%



売上高



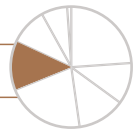
営業利益



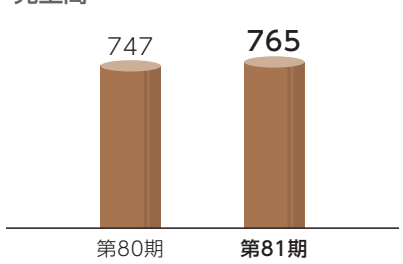
- 「東急プラザ表参道原宿」(東京都渋谷区)、「スプライン青山東急ビル」(東京都港区)、「新目黒東急ビル」(東京都品川区)の開業等により増収。
- アクティビア・プロパティーズ投資法人へ商業施設・オフィスビル等の固定資産を譲渡した影響により営業利益は微減。

管理受託業 (単位：億円)

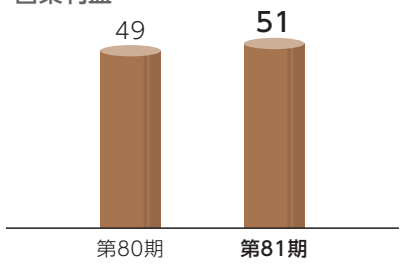
事業別売上高 13%



売上高



営業利益



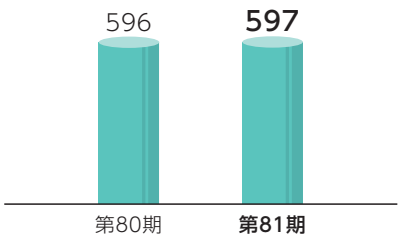
- (株)東急コミュニティーにおいて、マンション管理やビル管理の受注増により増収増益。
- (株)東急コミュニティーにおいて、2013年2月にユナイテッドコミュニティーズ(株)を連結子会社化による管理規模の拡大。

運営業 (単位：億円)

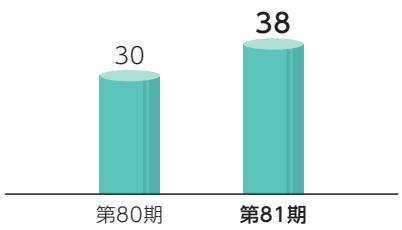
事業別売上高 10%



売上高



営業利益



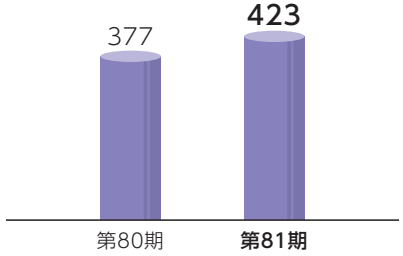
- リゾート施設の震災影響からの回復により増収増益。
- シニア住宅やフィットネスクラブの(株)東急スポーツオアシスの稼働が改善。

仲介業 (単位：億円)

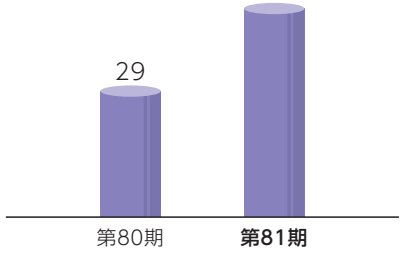
事業別売上高 7%



売上高



営業利益



- 売買仲介では、ホールセール部門において国内法人の拡大とともにグローバルな事業展開により成約件数の増加及び成約価格の上昇。
- リテール部門において積極的な新規出店、新サービス「リバブルあんしん仲介保証」の開始等により成約件数が増加。これらにより増収増益。

主要なグループ会社 (2013年3月31日現在)

東急不動産グループは、中心に「お客様」を据え、お客様のニーズ・ライフスタイルに合わせた商品・サービスを提供します。

住まい

- シニアライフ
- 賃貸住宅
- 新築住宅
- リフォーム
- 仲介
- 造園緑化



暮らしかえ、新築からリフォームまで
東急ホームズ

お客様のライフスタイルに応じた新築・リフォームなど
お客様に最も豊かな暮らしかたを提案・実践しています。

石勝エクステリア

住まいからリゾートまで、造園を通じた
環境整備を展開しています。

東急コミュニティー

マンション・ビル管理を中心に快適な住環境・事業環境
づくりをサポートする総合生活サービス業を展開
しています。

東急リロケーション

賃貸住宅管理、企業社宅代行、長期滞在型ホテルなど、
様々な住宅関連サービス業を展開しています。

東急リバブル

売買仲介、不動産ソリューション、賃貸、販売受託
の4事業を柱に、全国に展開しています。

東急住生活研究所

不動産、住生活などに関するマーケティングや、
環境経営に対する支援を行っているシンクタンクです。

東急イーライフデザイン

「安心と暖かさで包むシニア住宅と
介護付有料老人ホーム」の経営・運営を展開しています。

消費余暇

- リゾート施設
- スポーツクラブ
- ハンズ
- 商業施設
- ステイ



東急リゾートサービス

リゾート施設の運営を手がける
リゾート総合マネジメント会社です。

リゾート物件売買なら
東急リゾート

全国の別荘やリゾートマンションなどの新規
受託販売から、仲介までお手伝いしています。

東急スポーツオアシス

首都圏、関西を中心に会員制フィットネスクラブ
を運営しています。

東急ハンズ

住まいと住生活、手づくり関連の道具、素材、
パーツの総合専門店を展開しています。

東急不動産SCマネジメント

商業施設の運営管理・企画・コンサルティング
事業を展開しています。

お客様



ビジネス

- オフィス
- 福利厚生代行
- REITファンド運用

東急不動産アクティビア投信

商業施設・オフィスビル等を投資対象とする
「アクティビア・プロパティーズ投資法人」の
資産運用会社です。

東急不動産キャピタル・マネジメント

国内外の機関投資家や年金基金向けに
ファンドの組成・運用を展開しています。

イーウェル

福利厚生代行サービスの提案企業として、
企業の福利厚生を支えています。

東急不動産コンフォリア投信

賃貸住宅を主な投資対象とする
「コンフォリア・レジデンシャル
投資法人」の資産運用会社です。

会社の概要 (2013年3月31日現在)

商号	東急不動産株式会社 TOKYU LAND CORPORATION
設立	1953年12月17日
資本金	57,551,699,228円
従業員数	541名
ホームページアドレス	http://www.tokyu-land.co.jp

主要事業所

本社	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-2
関西支店	〒542-0081 大阪市中央区南船場4-4-3
札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北1条西4-2-2

役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役会長	植木 正威	執行役員	三浦 宏
代表取締役社長 社長執行役員	金指 潔	執行役員	古沢 繁之
取締役 副社長執行役員	岡本 潮	執行役員	岡田 正志
取締役 専務執行役員	小倉 敏	執行役員	西川 弘典
取締役 常務執行役員	大瀧 岩男	執行役員	木村 昌平
取締役 常務執行役員	三枝 利行	執行役員	吉浦 勝博
取締役 常務執行役員	植村 仁	常勤監査役	川合 正
取締役 執行役員	大隈 郁仁	常勤監査役	二見 英二
取締役	野本 弘文	監査役	安達 功
取締役	中島 美博	監査役	浅野 友靖
取締役	中村 元宣		

株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000 株
発行済株式総数	533,345,304 株
株主総数	44,553 名
単元株式数	1,000 株

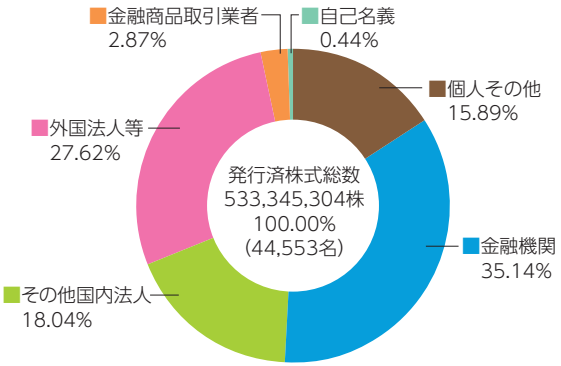
大株主の状況

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
東京急行電鉄(株)	88,380	16.64
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	34,931	6.58
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	27,986	5.27
三井住友信託銀行(株)	19,594	3.69
第一生命保険(株)	14,268	2.69
日本生命保険(相)	11,104	2.09
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT－TREATY CLIENTS	6,887	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	6,691	1.26
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	6,472	1.22
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	5,281	0.99

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況

個人その他	84,734,796株	(43,546名)
金融機関	187,415,644株	(78名)
その他国内法人	96,210,191株	(415名)
外国法人等	147,336,483株	(440名)
金融商品取引業者	15,287,270株	(73名)
自己名義	2,360,920株	(1名)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.tokyu-land.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
（郵便物送付先 電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

お知らせ

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

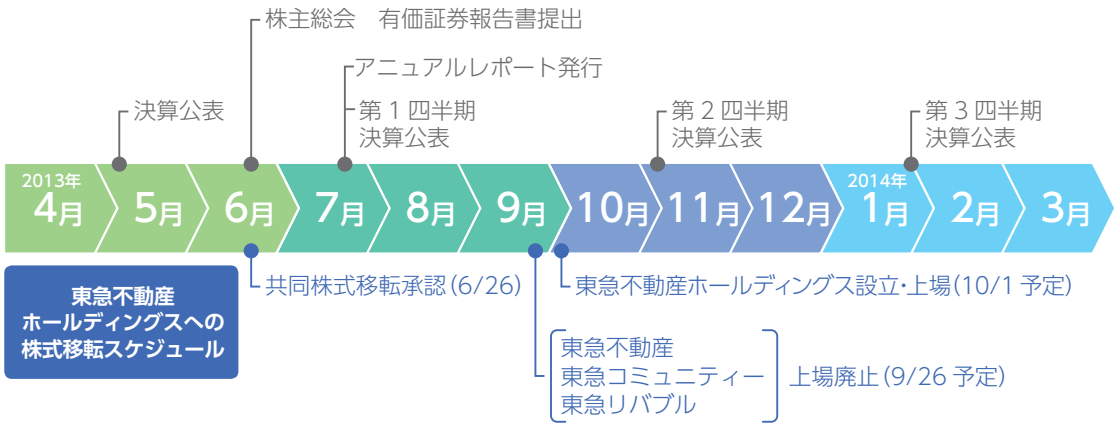
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

IRカレンダー

東急不動産株式会社　**東急不動産ホールディングス株式会社**



※「東急不動産ホールディングス株式会社」の設立と同社への共同株式移転につきましては、p.3～4「純粋持株会社「東急不動産ホールディングス株式会社」への移行について」をご覧ください。

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http: //www. e-kabunushi. com

アクセスコード 8815　いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、下のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」　TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

この冊子は、地球環境に配慮し、FSC認証紙と植物油インキを使用しています。